

シェアリングネイチャー☆まるしえ
事例発表その1

重い障害を持つ 子どもたちへ 自然を届ける

公益社団法人
日本シェアリングネイチャー協会
藤田航平



Photo:ひまわりProject Team

自己紹介



藤田航平（ふじた こうへい）

「よいしょ」

- ◆ 日本シェアリングネイチャー協会
事務局次長
- ◆ 2児の父
（シェアリングネイチャーパパ）
- ◆ 岡山県出身・千葉県在住

ひまわりHAUSとは

◆ NPO法人ひまわりProject Team

◆ 重症心身障害児（重症児）

- ・ 重度の知的障害
- ・ 重度の身体障害（肢体不自由）

◆ 放課後子どもひろば「ひまわりHAUS」

- ・ 週1回1時間弱のさまざまな体験活動
- ・ 参加者は8名程度
+ 保護者または付き添いの方 + 看護師の方



ひまわりHAUSの活動の流れ

時間	活動内容
15:00	子ども集合・健康チェック・はじまりの歌
15:10	ゲスト入場
	体験活動
	～
	～
15:50	クロージング
16:00	終了



Photo:ひまわりProject Team

シェアリングネイチャープログラムの例

◆ プログラムの概要（2019.6.5の実施内容）

- ① みんなが知ってるトトロのお話
- ② トトロの木の落ち葉など自然の落とし物を楽しもう
- ③ 旬の野草、野の花がやってきた
- ④ 旬のハーブを楽しもう。鼻をいっぱい使おう
- ⑤ 昆虫観察カップで虫観察
- ⑥ ドングリマラカスを作って合奏しよう
- ⑦ 季節のクラフトのお土産プレゼント

ねらいとキーワード

代表の藤原千里さんの言葉

「身近に触れることの少ない自然界の物に対しては見ただけ、触っただけ、聞いただけでも喜ぶのですが、見て、触って、聞いて、嗅いで、それが何かを理解できるようにすることを目的にすることで、継続していく価値はより高くなると思っています」

- ◆ **さまざまな感覚**を使って自然を**直接体験**する
- +
- ◆ 繰り返し学ぶ**機会**をつくる

活動例) 自然の落とし物



活動例) 生きもの観察



Photo:ひまわりProject Team

活動例) においのする葉っぱ



活動例) ハーブ



活動例) ハーブ



Photo:ひまわりProject Team

活動例) お土産



ポイント

◆ 理解できている前提をもつ

◆ わかちあいの場をつくる

◆ 得意を活かす

(できることを持ち寄る)

・ 無農薬の畑をやってる人は虫

・ ハーブを育ててる人はハーブ

・ クラフトが得意な人はクラフト。

素材そのものも使えるので、ストックも大活躍。



Photo:ひまわり Project Team

気をつけていること

◆ 禁忌事項を確認する（直前共有）

◆ 衛生管理

- ・ 土やホコリを洗い落とししておく
- ・ 除菌

◆ 体調管理

- ・ 風邪菌などを持ち込まない



Photo:ひまわりProject Team

まとめ

ネイチャーゲームリーダーの皆さんへ

- ◆ あなたの「自然が好き」を自然物に託して届ければOK。
きっと、あなただからできる自然配達があります
- ◆ 相談があればぜひ前向きに

重症児に関わりのある皆さんへ

- ◆ 事例を参考に
- ◆ ご相談は身近なシェアリングネイチャーの仲間たちに

参考) 全力を出したときの準備物



参考) どんぐりトトロ

